

第5週

Part 1 台本の日本語版を完成する（今日、授業後に提出してもらいます）

☛ 無駄な台詞の重要性

初めて台本を書くと、劇の進行に必要な最小限のせりふだけになってしまいがちです。けれどもそれでは劇にゆとりがないし、第一、リアリティがありません。日常生活というのは、必要事項を伝えることばだけでは潤いがありませんね。劇も同じです。一見無駄かもしれないようなせりふがあることで、劇にふくらみが出て、演劇としての質が上がります。豊かな表現力を養うためにも、クッションになるせりふをたくさん入れていきましょう。

☛ ト書の重要性

先週のノートにも書きましたが、ト書というのは、登場人物の動き、場面の状況、照明・音楽効果などの指定をせりふの間に書き入れたものを言います。ト書は、演出を決める際、とても重要なものです。台本にはこまめにト書を入れましょう。

来週までの宿題

今日、日本語版の台本を仕上げられなかった劇団は、来週までの間に集まって、台本を仕上げてください。

来週必要なもの

来週は授業で英訳をしていきます。必要な辞書を持ってきてください。